国保税値上げ中止・介護保険料値上げ幅押さえよ

3月市議会一般質問　ふくま健治議員が要求

こんにちは 福間健治です

こんにちは、福間健治です。第一回定例会（3月市議会）が、3月6日から27日まで、開催されました。市民の1年間の予算を決める重要な議会でした。また市民犠牲の議案めじろおしでしたが、改悪案にきっぱり反対するとともに、市民要求実現のためにがんばりました。昨年の12月市議会以降の活動報告をさせていただきます。

国 保税値上げ案は凍結を

世帯あたり年約20、500円の増

福間　国保税値上げ議案は、医療費の高騰による累積赤字解消のためとしている。

改正内容は、医療分で一人あたり年8、810円（7・7％）、介護分一人あたり年6、325円（43・7％）となっています。一人平均年額15、135円の値上げ、二人世帯で年所得200万円では、税率改正で、年税額は317、700円となり値上げ額は39、400円（14・2％）にもなる。

大分市議会議長に国保値上げ中止を申し入れる国保税値上げに反対する大分市民の会の代表ら

年金生活者は、課税強化により、より重い負担となる。値上げがされれば、滞納世帯のいっそうの増加、収納率低下を引き起こすことは目にみえている。またこのことが、短期証・資格証明書発行世帯を増加させ、受診抑制につながり、市民の命と健康に重大な影響を与えることは明らかだ。

被保険者だけに赤字解消の負担を押し付けるだけでは、根本的な解決にはならない、今回の値上げ案は凍結し、被保険者に重い負担をかけない方法などについてもっと論議を深めること。

市民部長の答弁　「国保財政の健全化をおこなううえで、避けて通れないものと考えている」被保険者の実態を無視した姿勢に終始しました。

国 保税値上げ中止の署名 3、102筆に

自民・公明・社民などオール与党会派が不採択に

2週間という短期間のとりくみでしたが、3000筆をこえる署名は、国保税値上げへの市民の怒りの声を表したものです。引き続き国保制度改善の運動を進めていきます。

国保街頭宣伝

安心して受けられる医療 安心して払える国保税

5つの緊急提案

1. 国保の国庫負担を元の45％戻すこと、一般会計からの繰り入れをもっと増額すること。
2. 低所得者に重い負担となっている原因は応能割と応益割の比率を5対5にしたことです。応能割の比率を高め、低所得者の負担を軽減する措置をとること。
3. 短期保険証・資格証明書の発行などにより、重症化して受診するケースが増え、医療費の高騰の悪循環となっている。短期保険証や資格証明書の発行は直ちに中止すること。
4. 「生活困窮による減免」制度を拡充すること。
5. 一部負担金免除制度をもっと利用しやすくすること。

あなたの国保税はどうなりますか？

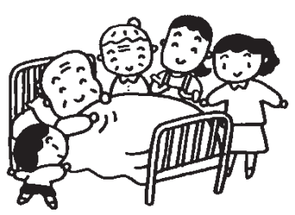
加入者	介護分	所得	新たな税額	値上げ額	値上げ率
1人	1人	125万円	187,100円	23,100円	14.7%
2人	1人	103万円	170,200円	19,800円	13.2%
2人	2人	200万円	317,700円	39,400円	14.2%
3人	1人	138万円	238,100円	27,600円	13.1%
3人	2人	200万円	348,900円	41,800円	13.6%

介 護保険料の値上げ押さえる対策を

福間　改正案では、①保険料徴収区分を5段階から7段階にすること。②税制改正により、保険料段階が上昇する者への激変緩和措置をとること。③準備基金の取り壊しする。その上での保険料基準額は、現行月額3、610円から4、270円（660円増、18・3％増）にもなる。しかも保険料値上げによる第一号被保険者一人あたりの年額負担は、7、920円、総額では約6億5千万円の負担増は高齢者の生存権をうばうものである。国に国庫負担の増額を要求すること。また市の一般会計から繰り入れなどによって値上げ幅を押さえること。

福祉保健部長　「国へ負担金の増額を今後も行っていく、一般会計からのくり入れについては、介護給付等に要する100分の12・5に相当する額と定められている」などと答弁。

私が、昨年の12月市議会で保険料をおさえるために基金の活用を提案しましたが、一人あたり月額77円と少額ではありますが**「全体では2億3千3百万円」**、保険料押さえるために充当されます。



俳句コーナー

日出生台にて　万葉　太郎

安保道路また拡くなる雪のたびに
米兵消えし枯野に迫る日本の闇
日出生台ぜんまい不屈のネジを捲く

大分市西南地域ニュース

2006年3月議会特集

• 連絡先 •
福間健治
生活相談所
TEL FAX 546−4505
fukuma@rainbow.plala.or.jp

日本共産党

な ぜ性急な都市計画変更の手続きをおこなったのか

大友館跡公園指定の拡大について

福間　2月24日の大分市都市計画審議会で、大友氏館跡歴史公園面積約6・5ヘクタール国史跡指定地および予定地約4ヘクタールの公園面積拡大が承認された。公園変更案の縦覧期間中には、短期間に564件もの意見書が提出された。市の案に同意したのはたったの2件のみ、圧倒的多数の方は反対の意志表示を明確にしている。なぜ性急な都市計画変更の手続きをおこなったのか。

都市計画部長　「事業推進の円滑化に資することを第一義として、建築物などの早急な制限のため、可能な限り速やかな法手続きをおこなったもの、大分市都市計画審議会の2つの付帯意見については、最大限の配慮をしていきたい」

一般質問の傍聴においでいただいた方からは、「私どもの声を代弁していただきありがとうございました」との、電話がありました。

発掘ですすむ大友館跡

生 健会　県・市大会

3月19日、4月1日に、生活と健康を守る会の県・市の大会が行われました。

「構造改革」の名による暮らし福祉破壊の政治が大手をふり、貧困と社会格差が広がるなか、低所得者の暮らしを守る砦として、「生健会」の出番の情勢であることが、例年になく討議で深まりました。大分市生活と健康を守る会は、新事務局長が就任し、新たな出発の大会となりました。

大分生健会大会で方針提起する福間健治会長

施 設見学と花見

金池後援会は、佐野清掃センター、建設中の元町雨水排水ポンプ場を視察しました。参加者からは、「現地で説明をうけ、施設の役割がよくわかった。」「西南地域の後援会でも計画しては」などの感想が寄せられました。

佐野清掃センター職員から説明うける金池後援会のみなさん

金池後援会花見

中 学校給食の民間委託に関する陳情

オール与党会派で不採択に

この陳情は、上野共同調理場を取り壊し、市内東部地区の単独調理場5つの中学校と佐賀関共同調理場をとりこみ、17校分8000食対応の共同調理場を海原地区に建設する方針をだしたことに対し、提出されたもので、文教常任委員会で審議されました。

なによりも、効率化第一の行政改革の一環として提案されたものであり、関係者の意見を聞かないまますすめられていることは問題です。

学校給食法の第一条目的や第二条、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を養うことなど4つの目標から考えるなら、自校方式は、調理時間にゆとりがあり、暖かい食事となる。小規模なため、直接仕入れができ地元農産物の活用がしやすいなどの利点がある一方、センター方針は調理時間にゆとりなく、食事時間までさめやすいこと。大量一括仕入れのため加工食品が多用されること。食中毒が集団化するなど、安全性への懸念がある。学校給食の今日的意義からするなら、自校方式を堅持すべきとの立場から最後まで採択を主張しました。

王子中・西中など6校の生徒も3400食から8000食つくる共同調理場（鶴崎地区）から運ばれてくる給食になります。「食の安全性」「食育のあり方」からするなら問題ではないでしょうか。

学 校選択制について

4月30日、大分市立小中学校の学校選択制検討委員会からの報告書が、教育委員会に答申されました。しかし①点数主義に偏るなど、学校間格差に過度な競争を生じないように配慮すること。②児童・生徒の登下校の安全性に配慮すること。などの問題点も指摘されており、性急な導入は問題ではとの声もあります。**みなさんのご意見・ご要望をお寄せください。**

市 政報告会　大道・豊府校区で開催

両地域では、新年会も兼ねた市政報告会でした。

大道では、堤前県議が日本共産党の役割と来年の県議選へ向けての決意を述べました。

豊府では、報告会終了後、鍋料理を囲んで、新年の抱負を語り合うとともに、楽しい後援会行事についても話が弾みました。

大道市政報告会

豊府市政報告会

職 員研修会で報告

医療生協職員研修会に招かれ、大分市の国保・生保の現状について、報告しました。また職員からは、国保資格証明書発行世帯の酷い実態や生保世帯の劣悪な住宅事情などがだされました。

医療生協職員研修会で報告する福間健治市議

川柳コーナー

ガセネタといわれて立腹でもゴメン　風鈴

駄々っ子がそっくり返って「イナバウアー」

長生きは年金はたいて買えという

喜びの声・こえ

引っ越し当日の朝、融資決定

「主人が車いす生活に、今の家では身動きがとれない、医療費などで毎月精一杯の生活、移転のための費用もない。」と相談をうけたのが、昨年秋のことでした。貸し付け機関になんども足を運び、申請をだしたものの、なかなか決定がおりず、やきもきする毎日。引っ越し当日の朝、やっと決定の連絡がはいりました。とＳさん(女性)から電話をいただきました。「ありがとうございました」という涙声に、私もようやくホット、胸をなで下ろしました。

生活相談や地域の要求、法律問題などたくさん寄せられ、道路舗装、側溝整備、河川の安全対策や障害者・高齢者、生保などの制度の申請手続きなど諸要求解決のために奔走しています。